

令和元年度 学校関係者評価実施用紙（まとめ用）

学校番号	60	学校名	静岡県立池新田高等学校	記載者	伊藤 裕司
------	----	-----	-------------	-----	-------

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	自律の精神や基本的生活習慣を身につけ、規律ある思いやりあふれた人間を育成する。	マナー集会年2回	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみや挨拶などは、外から見ていても大変良いと感じる。 ・100周年の式典でも、全員参加で応答や聞く態度が良かった。 ・「自ら考え、適切な行動」を求める指導が機能している。 ・「他者の話をしっかりと聴く」「挨拶」「校歌」は、日常的な訓練で習慣づけることが必要である。「池高の校風」となるよう定着を目指してほしい。
		SNSモラル講座年1回	B		
		他者の話をしっかりと聴くことができる生徒80%以上	A		
		身だしなみを自ら正す生徒90%以上	B		
		自ら挨拶をする生徒90%以上	B		
		校歌をしっかりと歌う生徒60%以上	B		
		欠席率1.5%以下	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校と比較すると、向上している。 ・人間関係づくりの大切さに着眼した生徒に寄り添うきめの細かい教育は、少人数ならではの本校の特徴となる。
遅刻率0.8%以下	B				
		共生・共育から学ぶことが多いと実感する生徒80%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の88%が共生共育を生徒の人間形成に役立つと評価している一方、「学ぶことが多い」とする生徒の割合が学年が上がるごとに下がっていることが気がかりである。日常的な交流の在り方指導が必要ではないか。 ・全校での交流を継続して欲しい。

イ	授業の内容や方法を工夫・改善し、学習意欲を高め、基礎的な学力を育成する。	授業中に教員が褒めたり励ましてくれたりすると感じる生徒 80%	C	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の「授業に意欲的に取り組んでいる」肯定率の高さは、教員の「分かる授業を心がけている」に裏付けられている。 小、中学校でも画像や動画、教えあいなどを取り入れた授業を展開している。教員側の準備は大変となるが、小、中、高協力して分かりやすい授業づくりに取り組んで欲しい。 教員に求めるものが、キャパシティを越えていないか心配である。 自己評価がCとなった項目について、組織的抜本的に検討する必要があるのではないか。
		分かる授業を心がける職員 95%以上	B		
		生徒の到達度に応じた授業を実践している職員 90%以上	B		
		先生は授業を大切にして分かる授業を心がけていると答える生徒 90%以上	B		
		授業に意欲的に取り組む生徒 90%以上	B		
		他の職員の授業を年 2 回以上参観する職員 80%以上	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域の義務教育での研修会に 54 人の教員が参加したことは素晴らしい。 授業を見られることに抵抗感を持つ教員もいるだろうが、公開は継続して欲しい。
		授業公開週間年 2 回	B		
		義務教育職員との授業改善研修年 2 回	B		
		義務教育職員の公開授業参加 40 人以上	A		
		読書週間年 2 回	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 図書BOXの設置は良い取り組みだと思う。 「年間 2 冊の読書」にあてはまらない生徒が昨年 17% 本年 19%と、対策は講じていても歯止めがかかっていないのが心配である。
図書室オリエンテーション 1 回	A				
各学年図書 BOX の設置	A				
ウ	人間としてのあり方・生き方を考え、主体的に進路選択をし、進路実現を図る生徒を育成する。	総合的な探究の時間に向けて地域との連携を強化し、具体的な探究の活動を構築する。(1年生)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域学習は、地域の誇りと愛着の醸成の効果があり、将来、地域の担い手としての活躍が期待できる。

		各種説明会やインターンシップ等の進路指導、行事が十分に行われていると答える生徒 90%以上	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域では、高校と企業が連携して模擬面接を行っているところもある。検討してみてもどうか。 ・過去 3 年間の進路指導の評価を見ると、生徒 (80%→82%→80%)、保護者 (74%→79%→75%)、教職員 (94%→91%→83%) と、ともに肯定的評価が高い。入学時から系統的、個別的な進路指導が、なされている証である。 ・生徒の希望がどれくらい実現しているのかを知りたい。 ・生徒の満足度が高く、良い取り組みである。
		e ポートフォリオの導入	A		
		「進路だより」の発行や進路閲覧室の充実により進路について考える機会の提供	A		
		学年進学検討会	B		
		大学進学希望者の進路課個別面談	B		
		進路指導員による面接指導	A		
		一人ひとりに適した丁寧な進路指導が行われていると答える生徒 80%以上	A		
		学びの基礎診断等を活用して、基礎学力が向上したと実感する生徒 80%以上 (1・2年)	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・50%以上の生徒が「実感」できているので、良いのではないか。 ・基礎学力の向上のためには、生活習慣をつけることが必要である。
		協働体制を推進する校内分掌配置	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・若い教員が多く、小規模な本校では一人当たりの仕事量は多いだろうと思う。 ・施錠時間の平均が 21 時 15 分は他校と比べてどうなのか。浜岡中学校は現在 20 時である。 ・働き方改革のためには、現状の分析と覚悟を持った業務切り捨ても必要なのではないか。効率化にも限界がある。
		職員室施錠時間 21 時以前	B		
県実施調査のストレス値(学校全体)が県平均を下回る。	A				
エ	安心・安全の確保のための環境づくりを推進する。	保健だよりを毎月発行	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食抜きの生徒が増加している。毎日朝食を摂るほど新体力テストの合計点が高くなることが明らかになっている。「勉強も運動も朝食から」という生徒、保護者への啓発活動が必要である。
		生活習慣アンケートの定期的な実施	B		
		薬学講座の実施	A		
		朝食摂取率 93%以上	B		
		保健指導により健	B		

	康や安全に関する高い意識を持つ生徒 80%以上			
	校内美化に努める生徒 90%以上	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を訪れた際、廊下や階段など常にきれいだと思う。 ・安全衛生委員会を毎月実施しているのは素晴らしい。 ・「校内美化に努める生徒」は、92%とここ数年で最も高く、全校で美化活動に取り組んでいる様子が窺える。
	職員安全衛生委員会毎月開催	A		
	校内安全点検の定期的な実施	B		
	新入生オリエンテーション時に人間関係構築プログラム実施	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・継続を期待する。 ・いじめ防止対策がしっかりとできている点が良い。 ・入学満足度は生徒 76%、保護者 88%であり、1 年生の保護者の 94%が「入学させて満足」と答えている。大多数の生徒が「安心できる学校」「楽しい体験ができる学校」「認められる学校」と認知している証である。
	相談室担当者連絡会の実施	A		
	いじめアンケート（生活アンケートに含む）の定期的な実施	A		
	いじめ防止対策委員会を活用し組織的な早期対応	A		
	グリーンカード集計月 1 回	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・多感な時期に、大人（教員）を信頼し悩みを相談する生徒が 3/4 いることから、教員の努力が分かる。 ・グリーンカードによる「良い所見つけ」は学校全体の包容力を高める。
	グリーンカードの内容の保護者への連絡月 1 回	B		
	先生を信頼する生徒 70%以上	B		
	重大な交通事故 0 件	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・重大事故ゼロは、大切なこと。 ・学校を少し離れると自転車の二人乗りなど見かけることがある。
	交通安全教室、年 1 回の実施	A		
	部活動に積極的に参加する生徒 80%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・100 周年事業での生徒会の頑張りは立派であった。生徒たちも積極的に参加していた。 ・部活動は関係者だけではなく、地域住民も注目している。 ・地域貢献活動などは、社会との接点も多く、学校への評価の尺度の一つとなる大切な活動である。 ・充実した学校生活が送れている。
	学校行事や委員会活動に積極的に取り組む生徒 80%以上	A		
	生徒表彰の充実	A		
	居心地の良い図書室の環境づくり	A		
	災害時の対応力を	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練へぜひ参加し

		養成するため、防災訓練を実施する。		B	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時にどう行動するかは、訓練で身につけるしかない。 ・高校生は、避難後に貴重な戦力として期待されている。「助ける側」であることを自覚させる防災訓練が必要である。
		地域防災訓練への参加を促すとともに訓練参加状況を把握する。			
		監査の指摘事項 0 件	A	A	
		節電・節水等経費の削減に努める教職員 100%	B		
オ	地域や保護者に信頼される学校や開かれた学校づくりを推進する。	学校・学年年行事、部活動の状況、連絡事項を漏れなくホームページの掲載し教育活動のポータルフォリオ化する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の回覧板で池高 TIMES を目に見している。ホームページも見やすく良い。 ・情報の受け手を想定して、的確な情報発信が必要である。
		池高 TIMES 年 10 回発行・配布	B		
		地域「寺子屋」における小学生学習支援への生徒の参加	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「開かれた学校」の目的は、保護者や地域に信頼される学校づくりにある。地域社会の一員として積極的にかかわろうとする姿勢が求められる中で、公民館での学習支援は評価される。支援を受けた小学生が、池高生となり支援している姿に歴史を感じる。 ・御前崎市市教委のスクラムグッドマナー運動への参加は素晴らしい。
		地域貢献、地域活動に参加する部活動 100%以上	A		
		施設開放を行い地域活動に貢献する。	B		
		日程の工夫による P T A 総会出席率 50%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の授業参観が増えている。しぶき祭、体育大会への参観も増えており、保護者の目が少なからず本校に向いてきているのではないか。 ・職員の負担なしに P T A 総会への出席を増やすのは、困難である。
		一斉メールを教育活動の広報にも活用する	B		
		本校の P T A 活動は活発であると答える保護者・教員 70%以上	B		